

## 26. 孫の大学合格を褒める

001A : アラ Bサン ナント ドゴサ イクドコダガ。

あら Bさん なんと どこへ 行くところだか。

002B : ハイ。イマネ ユービンキョグサ イグド オモッデアノッサ。

はい。今ね 郵便局へ 行こうと 思っていたのさ。

003A : ハーハーハー。アラ ソイバ ナント Bサン マコ° サンカ° ナント

はいはいはい。あら そういえば なんと Bさん お孫さんが なんと

ダイカ° グ ウガッタソーデ。

大学[に] 受かったそうで。

004B : ホンダガラ、オラエノXネー、(A ウン) オガケ° サマデ センダエノ

そうなんだ、うちのXね、(A うん) おかげさまで 仙台の

ダイカ° グサ ハイロンナッタノ。

大学に 入ることになったの。

005A : ア ナントー。

あ なんと[喜ばしいことだ]。

006B : ミナサン シンパイ カゲダネ<sub>二</sub>。

みなさん[に] 心配 かけたね。

007A : ウーンウン ズンネ [1] ゴドネー。ナント メンチャコガッタッケー

うーんうん りっぱだことね なんと 小さかったのに

ダイカ° クセ ナッタンダー。

大学生[に] なったんだ。

008B : ホンダガラネー、(A ウー) ヒトリムス アノ マコ° ノネー [2]

そうなんだよね、(A うー) 一人×× あの 孫のね

(A ウーンウン) オレアー シトリッコダガラッサー (A ハイハイ)  
(A うんうん) ほら 一人っ子だからさ (A はいはい)

オラエノズンツアマモ ヨロゴンデオリシタ。  
うちの爺さんも 喜んでおりました。

009A : アー オメデトゴザリシタ。  
あー おめでとうございました。

010B : ハエ。コレガラモ ヒトズー (A ハイ) ナニカニ  
はい。これからも ひとつ (A はい) 何やかや

オセワナッカラネ。  
お世話[に]なるからね。

011A : ハイ。ヨガッタネ。  
はい。よかったね。

012B : ハイ。  
はい。

[1] ズンネ

「図無い」。「ズンネゴド」で子供を褒める慣用句としてよく使用される。「感心だ」「よくやった」。

[2] マコ° ノネー

次への文の続き具合からすると、「ノ」は不要と思われる。